

4月朝礼校長講話

令和7年4月9日(水)

校長 佐藤 明子

「新しい世界を見てみよう、挑戦してみよう」

(最初に手話で「おはようございます」を伝える)

皆さん、おはようございます。この動きは、手話で『おはようございます』と伝える方法です。言葉を使わなくても、気持ちを届けることができます。さて、新しい学期が始まりましたね。新しい環境、新しい出会い、新しい目標——そんな『新しい世界』を、皆さんはどのように迎えていますか。

今年 2025 年は、日本にとって特別な年でもあります。なぜなら、『第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025』が東京で開催されるからです。11 月 15 日～26 日の 12 日間、聴覚障がいのあるアスリートたちが約 70 か国の世界から集まり、21 競技を、競い合う大会です。

デフリンピックの選手たちは、音が聞こえない環境の中で、視覚的な合図や手話を使いながら仲間と協力し、挑戦を続けています。その姿は私たちに大切なことを教えてくれます。困難があっても、挑戦し続けることの大切さ。新しい環境に臆せず、一步を踏み出していくことの価値。

「新学期の始まりは、皆さんにとっても新しい挑戦のスタートです。ぜひ皆さんも、新しいことに挑戦してみましょう。小さなことでも構いませんデフリンピックの選手たちのように、自分自身の可能性を信じて、前へ進んでいきましょう。

今日は、このあと、安全指導に関すること、給食に関することの話が、担当の先生からあります。自分の命を、仲間の命を守るために大切なことです。しっかりと話を聞き、みんなが安全で安心して学校生活をするよう、行動していきましょう。

(最後に手話で「みんなで一緒にかがみましょう」を伝える)